

委員会だより

<4月11日(日) 13名出席>

【1】財務報告：99年3月度決算報告(甲斐さん)

(括弧内数字は99年度年間予算)

	当月収入	当月支出	99°収入累計	99°支出累計
一般会計	651,810	850,507	2,893,138 (6,367,268)	1,794,021 (6,267,268)
建設会計	1,266,000	0	3,016,812 (3,245,476)	0 (2,873,000)
愛の献金	0	0	572,249 (861,749)	41,100 (520,000)
信徒預金	0	0	191,673 (841,673)	9,702 (680,000)

特記事項：◆一般会計：ご復活パーティで¥80,000仮支出。実支出は¥60,423で済み、次月精算。

- ◆一般会計：第5地区セミナー協力金¥30,000支出。
- ◆建設会計：信徒献金合計¥1,100,000を頂く

【2】議題：

(1) 第8回湘南短期キリスト教セミナー全体委員会

(片瀬、大船、藤沢、中和田教会、第1回:3/14、七浦さん)

◆テーマ及び講師の案：講演時間はpm2:00~4:00

11/13(土)	高祖敏明神父(上智大学教授/イエズス会)	ザビエル巡礼450周年に関する話
11/20(土)	Sr.渡辺和子	キリストと愛に関する話
11/27(土)	デーケン神父(上智大学教授/イエズス会)	生と死とユーモア

◆開催には、最大収容人数400名くらいの会場設営が必要であり、順番からすると、来年度は中和田の当番であるが、中和田教会の建物での開催は不可能。どう対処するか、中和田教会としてのスタンスは8月中旬まで確定すること必要(継続審議)

(2) 第5地区のインターネット・ホームページ開設：

◆藤沢教会は既に開設済みで、大船、戸塚、原宿、など各教会が準備中。5月中旬の宣教委員会に検討結果を報告要。

(3) 拡声機器の整備：マイクの問題であり、もう少し考えてみる(花坂さん)。

(4) 初聖体(石井さん)：

◆今年小学一年生になる児童が3名いる。5月または6月から父兄と共に、初聖体のお勉強を始める。

◆時間は、第2、第4土曜日の11:00amより。

◆この初聖体の勉強は第4土曜日の「いるかグループ」の活動とは別に行う。★山崎神父様へのお願い：「いるか」の集いの時に神父様より祝福を頂きたい。

(5) 森脇先生の理科教室：5月第4土曜日に開催！

(6) 青少年を考える会(小野寺さん)：

「青少年を考える会」に若手が4名来てくれた。まだ「青年会」のように組織化する前の段階だが有り難い動き。また二俣川教会を中心に交流の動きもある。

(7) バザー委員会：5月より開始。福島さんがアレンジ。

(8) 聖土曜日ミサ：来年度より7:00pm開始に徹底する。

(9) スリッパの買い増しをする(現在、50足のみ)。

壮年会だより

<4月18日(日) 9名出席>

先週、開かれた教会委員会の報告がされた後、話し合いに移り、活発な意見交換がされました。その

中のいくつかを箇条書きにしてみました。

1. 壮年会のひとりひとりが、いかにして、教会活動に関わっていくのか。各自のタレント性を生かして、できることから始めよう。けっして無理せず、一步一步着実に歩み続けることで、やがて輪が広がっていく、青少年問題への取り組みが今まさに芽がでてきている。
2. 青年会、婦人会、壮年会など階層別の活動が世代を超えた縦への広がりとなってくれば共同体の活動が活性化されたものになる。そのための努力を惜しまずに続けよう。
3. 司祭や修道者の将来像について、十年前に危惧の念をもって提言されたことが、いま現実の姿になりつつあります。真剣に共同体の存続を願い、わたしたち信者がなすべきことがなにか、考え、実行に移す必要があります。

きたるべき大聖年に向かってわたしたちは何を考え、何をやっていけば良いのでしょうか。皆さんのご意見をお待ちしています。

婦人会だより

<4月18日(日) 40名出席>

◎ 委員会報告

◎ 遠足について

- ◆目的地：しながわ水族館、大森教会
- ◆日時：5月12日(水)
- ◆費用：4500円
- ◆集合場所：神奈中立場車庫8時45分集合
- ◆帰着予定：16時30分
- ◆申込締切り：5月9日(日)

上記のように決定致しました。尚今年壮年会の皆さんにもご参加の呼び掛けを致しました。

参加ご希望の方は掲示版の参加申込書にご記入下さい。皆さんのご参加をお待ち致しております。

◎ バザーについて

- ◆例年どおり自主作品を一人2点提出して下さるようご協力お願い致します。
- ◆今年には特に奉仕日を設けないことにしました。

次回例会は5月16日(日)、次回当番はA地区です。

結婚

4月29日(木) 於 中和田教会
ドミニコ 楠田 兼路 さん
平田 幸子 さん
〒156-0043 東京都世田谷区松原2-19-3
グリーンハイツ3-F Tel(03) 3324-8595

転居

エリザベト 小野 イク さん
〒245-0015 泉区中田西2-24-6
モンテイクロ3番館204

ミサ (神父様NRC御出張の為)

5月29日(土) 夜7時のミサ中止
5月30日(日) 朝9時のみ。 鶴飼神父様司式

今月の予定

委員会	5月 9日
主の昇天	5月 16日
聖霊降臨の主日	5月 23日
三位一体の主日	5月 30日
サロン	5月 9, 23日
レジオ	5月 14, 21, 28日



第247回

中和田カトリック教会
広報委員会発行

泉区中田北1丁目9-1
Tel. (045) 803-6141

1999年5月2日



ありがとうございました ③

山崎 正俊



予想していたよりも、二三ヶ月おそく、妹は、この世を去っていった。やっぱり、思いもかけずという感じであった。リハビリのためにということで、近くの大口病院に移り、この次にはどこに行くつもりですかと尋ねられて、これは気の早すぎると、びっくりしていたのに、はじめの病院にはいったのが、昨年十月だったか、しばらくして何日頃だか、回復するかもしれぬという希望さえ持ちかけたのに、点滴だけになっていたとか。

こんどは、誰も気がつかないとき、心臓がとまり、姉のところに電話で知らせが来たのだそう。ねむるがよくな臨終だと思えるような寝姿だった。

電話がきたとき、信者の会の集会中だったせい(あ、そうですか)という顔をしていたそう。それが十一時半ごろに終わると、何んだかよくわからないけれど、急にあわてて出掛けることにし、地下鉄でカタクラ駅へ。そして、下耕地のバス停のところを右折して、ひばりが岡の森田屋葬祭センターの霊安室に行けた。寝棺のそばに、新しい着物をまどって、手指を胸にむすび、美しく薄化粧をした顔を、うすい白布でおおって、よこたえられている妹に会えた。七十六歳であの世に逝ってしまったのか。姉と、社長である息子さんたちが、そこにいた。これはたいへんだと、教会に電話をして、十字架や、持ち忘れてきた葬儀に必要なものをそろえていただくようにたのんだ。そして、そのまま、祈りをつづけながらの納棺。清浄な飾り付け。

なんと、私はジーパンにジャンパー。さすがに、靴下に靴。紫のストラと葬儀の祈り本などは忘れていない。道順の説明は書いていたからよかった。ボケ頭もどうにか動いていたようだ。典礼係りの人は、手早く働いてくださったから、すべては間に合った。その葬祭センターの社長さんは若い頃に、キリスト教会に行っていたことがあったので、あまり迷わずにとりしきっておられた。

翌日の葬儀は、十一時。出棺は十二時十分と、きちんとすすむ。その日は「友引」だったのに、火葬場は輪番制になっていて、ゆっくりしていた。けれども、キリストさんだからということで、焼香台は遠慮され、献花台も出し忘れ。「よろしくお願ひします。私はなんでもしますから」と、となりの御焼香台を引きよせていただき、すべてはことなし。

昨夜のお通夜には、いまはなき義弟(といっても、私よりも歳うえ)のその息子さんが喪主なのだが、その会社に長年やしなわれているイカツイ顔のかたがたが、(亡き妹は四十年の余りもそこにいたのだから)たいへんお世話になりましたと、その「永のわかれ」をかなしみ、(今日は仕事でこれないが)共に嘆いてくださっていた。—私はカトリック教会の神父だから、いつも馴れた法式で捧げる。その方たちは、はじめてのことなのに神妙奇特に坐っておられた。私にもハジメテのこと。嬉しくも感激のことの至り。—

凡夫のために、あの大法輪を転じながら、林野の果てにお倒れになった「お釈迦様の御慈悲」。十字架の上にその生命をお捧げになるのを承知で、すべてのためにお徹しになられた「キリスト様の模範」。その「御いつくしみ」にお応えになったみなさまのヤサシイお心。—ありがとうございました。まことに、ありがとうございました……………。

(1999.3.13)

ルルド・ハビエル巡礼 七日間 (1)

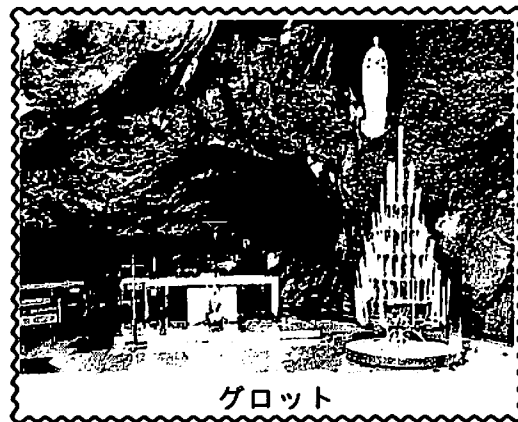
花坂 昌子



三月三日、成田空港に全国から六十五名(内関東方面三十三名)が集合、大阪平野区のコムニタスの家の後藤進神父様が同行、旅の無事を祈って下さった。エール・フランス国営航空は二十二時(時差八時間でパリ時刻十四時)発。森脇さんご夫妻とは偶然ご一緒となり、姉と中野慈生会病院看護婦Wさんと楽しいお仲間となる。留守宅の母のことが気掛かりだったが、以前ルルドに旅行したことがあり、理解して下さり、後は主人と息子に託しての思い切った旅である。狭い座席での十五時間、寝苦しい夜は長い。翌朝四時半、まだ暗く寝静まったパリに到着した。バスの中から街灯の街を見学。パブレストランでは美味しいクロワッサンとコーヒーの朝食を採りオルリー空港へと向かう。八時発の便が遅れ十一時発でピアリッツへ。着後専用バスでスペインとの国境を越えてハビエル城に夕刻着く。外はまだ明るい。渡日四百五十周年を迎える聖フランシスコ・ザビエル生誕の地は、レイレ山脈南面のなだらかな丘陵の巨大な岩の上に建つ、石造りの建物で、中世期に軍事目的で建てられた為、窓は矢をひく様細く全体にうす暗い。1549年から52年迄、日本に最初のキリスト教を伝道されたことはあまりにも有名である。その日城内の礼拝堂のキリスト像が血の汗を流したと言われている。お聖堂では神父様よりごミサが挙げられる。正面中央にはザビエル像が両手を広げて立ち、私達を歓迎して下さっている様。改めて偉大な聖人に親しみを覚えた。城を後にしてバスは暗闇の中をルルドへと向かい、夜中の一時に着いた。僅かな睡眠の後、ミサの為に「ルルドの聖母の聖域内」に行き、「無原罪の御宿りのバジリカ大聖堂」の地下小聖堂へ。この大聖堂は聖母の「ここに聖堂を建てて下さい」とのお願いに応じて、御出現の真上に建てられた。ミサに授かり、巡礼団事務所に寄ると、泉で病が治り、正式に奇跡と認定された方々の写真が並ぶ。マッサピエルの洞窟(グロット)に着く。ここで聖母は1858年2月11日から7月16日の間18回にわたってベルナデッタ・スプルーにご出現され、「私は無原罪の御宿りです」と言われた御姿が立っておられる。昼夜、巡礼者の祈りの改心場として尊ばれ、毎日ミサが挙げられている。聖母が「泉の水を飲み、洗いなさい」と言われ、聖女が掘った「奇跡の泉」は今も湧き出て水浴場と給水場に貯水されている。グロットの聖母に祈る内、懐かしさと親しさと愛しさと感謝の思いで胸が一杯になった。中三で受洗した時ベルナデッタの純朴さに惹かれて霊名を頂いた頃を思い出す。泉に浸かったがすぐに暖まり清められた感じがした。



ナヴァラのハビエル城



グロット

夕刻バスで聖女が幼年を過ごしたバルトレスの村に行き、通った教会、乳母の家、羊を連れて休憩した小屋などを訪問した。ホテルに戻り夕食後神父様の提案で、グロットで聖体行列をすることになり、用意の後、小雨の中、ロザリオとローソクと傘を持ち、マリア様の前で祈る。翌朝、聖域内のセント・ガブリエル教会でミサに授かる。朝食後は再三グロットに行き礼拝する。ルルドの町の人たちはフランに慣れない私達に親切に対応してくれた。出発までの時間、歩いて聖女一家が住んでいたカショー(牢獄だった所)を訪問、その貧しさを想う。この家から薪を拾いに行き聖母の御出現に会った——。ルルドに別れを告げ、バスはポー空港へ向かう。ここでオルリー空港での胴体着陸の事故を知る。改めて飛行機の怖さを想う。雲の切れ目にルルドの聖域が、明るく見えたときには思わずマリア様に旅の無事を祈った。

(次号ではベルナデッタの眠るヌベールへ伺います。)



大いに反省

環境を考える会 七浦 鑑吉

御復活祭のパーティーも終わり、祝の余韻を残しながら、みんなで協力して後片付け。いつの時も祭りのあとはゴミが出る。当然のことながら黒い大きなビニールの袋が5、6個台所に持ち込まれた。私も最後のひと袋を運んだ一人。

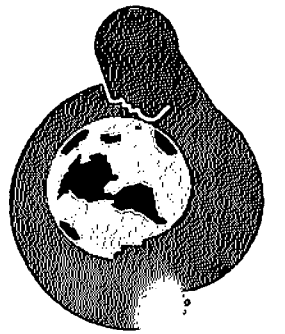
その時、町田さん(環境委員)から肩をたたかれた。「七浦さんどうします?」ゴミ袋に目をやって中味の分別収集をどうしようという合図、自然を汚さないようにすることの大切さは、いつも心がけていると自分では思っているが、祝のアルコールで気持ちがゆるんでいたとは言え、ハッと我に返り「うーん」と無言で返事をかえし、「今日は用意していないのでこのままで……」と気の悪い返事を返してしまった。あとで何とあさましい返事だったと自分が情け無くなった。

中和田教会に環境を考える会というものをつくり、ましてや委員の一人でありながらその時の体調の良し悪しはあったにせよ、自然を汚さないように皆んで心掛けようと呼びかけている委員として、何と情け無い態度だろうと大いに反省しました。

環境問題は日常新聞テレビのニュース等、今はあらゆるところで叫ばれているなか、誰でも感心はあり大切なことだとわかっていても、それが無意識のうちに便利さの考えに押し流されて、頭だけで本当はまだ分かっていないということが、自分で自分を証明したような恥ずかしさを感じたところです。

環境を考える会の活動も根についた地道な行いを大切にしていかなければと反省すると同時に、終わって婦人会の方々が空カンは空カんに、発泡スチロールは発泡スチロールにきちんと分けて皆んで持ち帰ったとのこと、あとで聞き、さすが中和田教会の皆さんの考えはしっかりしておられる、自分たちで出来る小さな行いの大切さをチャンとやって下さる皆さんに対して「環境問題、中和田教会健全なり」とエールを送りたく、このペンをとりました。ありがとうございました。

皆んでとにかく地球を大切にしていきましょう。



第2回「おもしろ理科教室」のお知らせ

第1回の試みでは、メキシコサンショウウオ(ウーパ・ルーパ)や、アメリカツメガエルの幼生(おたまじゃくし)を使って、心臓の動きを観察したり、人間の錯覚の実験をしたりしましたが、大変面白く好評でした。

さて第2回は何がとび出すか楽しみです。一度気軽に参加してみませんか。

1. 日時 5月22日(土) 午前10時~11時
2. 場所 中和田教会集会室
3. 講師 森脇美武先生
4. 対象 小学校5、6年~中学1、2年位

青少年を考える会

ミサ当番表 (99年5、6月)

月/日	主日	朗読、奉納	オルガン
5/ 2	復活節第五主日	壮年会	美底
5/ 9	復活節第六主日	青年会	森田
5/16	主の昇天	婦人会A地区	大宮
5/23	聖霊降臨の主日	壮年会	岩淵
5/30	三位一体の主日	婦人会A地区	美底
6/ 6	キリストの聖体	壮年会	森田
6/13	年間第十一主日	青年会	大宮
6/20	年間第十二主日	婦人会B地区	岩淵
6/27	年間第十三主日	壮年会	美底

※当番の方は10分前には集合して下さい。
 ※ご都合の悪い方は典礼委員まで申し出下さい。
 (萩原: TEL 802-6258)